



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム 上場取引所 東
コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 行 辰哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸 TEL 03-6825-4086
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,599	7.0	130	△28.9	135	△19.3	73	△26.6
2024年3月期第1四半期	5,231	△5.4	183	89.9	168	50.1	100	61.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 73百万円 (△26.7%) 2024年3月期第1四半期 100百万円 (60.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	4.38	—
2024年3月期第1四半期	5.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,950	2,813	28.1
2024年3月期	10,299	2,924	28.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,795百万円 2024年3月期 2,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	8.00	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	7.3	1,100	7.4	1,100	9.1	700	△6.7	41.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	16,757,700株	2024年3月期	16,757,700株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,710株	2024年3月期	1,710株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	16,755,990株	2024年3月期1Q	16,757,195株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこと等により、経済活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、資源・エネルギー価格の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション・ビジネス」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)F I Sソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、本サービスを「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション・ビジネス」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング・ビジネス」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が55億99百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。これは主に「ユーティリティ・ビジネス」において、契約件数が堅調に伸びた事によるものでありますが、一方利益面では、「ドキュメントソリューション・ビジネス」及び「コンサルティング・ビジネス」の販売計画の遅れにより、営業利益が1億30百万円（前年同四半期比28.9%減）、経常利益が1億35百万円（前年同四半期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が73百万円（前年同四半期比26.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。なお、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法に基づき組み替えて比較しております。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。情報通信機器の販売計画の遅れにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億11百万円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント利益は3億16百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。契約件数の堅調な伸びにより当第1四半期連結累計期間の売上高は19億15百万円（前年同四半期比34.5%増）、セグメント利益は1億27百万円（前年同四半期比40.0%増）となりました。

《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。大口顧客並びに新規商材の販売計画の遅れにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億95百万円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。クラウドサービスの伸長により、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億77百万円（前年同四半期比2.5%増）となったものの、保険サービスとセキュリティサービスの販売計画の遅れにより、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比78.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は99億50百万円となり、前連結会計年度末比3億49百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（24百万円）、受取手形、売掛金及び契約資産の減少（2億28百万円）、未収入金の減少（26百万円）及び投資その他の資産のその他の減少（37百万円）によるものであります。

負債の残高は71億36百万円となり、前連結会計年度末比2億38百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（64百万円）、短期借入金の減少（1億50百万円）、未払金の減少（67百万円）及び賞与引当金の減少（58百万円）によるものであります。

非支配株主持分の残高は18百万円となりました。また、純資産の残高は28億13百万円となり、前連結会計年度末比1億11百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,019,045	994,647
受取手形、売掛金及び契約資産	3,630,148	3,401,561
商品及び製品	70,257	48,715
仕掛品	26,821	17,005
原材料及び貯蔵品	103,532	95,463
未収入金	1,591,389	1,564,628
前払費用	696,029	712,012
その他	309,565	298,505
貸倒引当金	△61,743	△65,626
流動資産合計	7,385,046	7,066,913
固定資産		
有形固定資産	145,497	144,971
無形固定資産		
のれん	203,707	188,895
その他	878,809	892,868
無形固定資産合計	1,082,517	1,081,763
投資その他の資産		
長期前払費用	687,093	693,865
破産更生債権等	139,851	132,907
その他	988,887	951,824
貸倒引当金	△128,927	△122,024
投資その他の資産合計	1,686,904	1,656,573
固定資産合計	2,914,918	2,883,308
資産合計	10,299,964	9,950,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,595,340	2,660,061
短期借入金	1,300,000	1,150,000
未払金	2,511,973	2,444,349
未払法人税等	27,630	32,109
賞与引当金	138,491	79,975
役員賞与引当金	83,900	27,464
その他	483,541	503,363
流動負債合計	7,140,876	6,897,325
固定負債		
退職給付に係る負債	208,230	213,212
その他	26,387	26,222
固定負債合計	234,618	239,434
負債合計	7,375,494	7,136,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,660	553,660
資本剰余金	53,660	53,660
利益剰余金	2,299,398	2,188,535
自己株式	△620	△620
株主資本合計	2,906,099	2,795,235
非支配株主持分	18,370	18,225
純資産合計	2,924,469	2,813,461
負債純資産合計	10,299,964	9,950,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,231,823	5,599,738
売上原価	3,854,678	4,228,901
売上総利益	1,377,144	1,370,836
販売費及び一般管理費	1,193,683	1,240,378
営業利益	183,461	130,458
営業外収益		
受取利息	0	1
貸倒引当金戻入額	—	8
違約金収入	—	4,450
利用料収入	2,985	3,265
その他	1,025	1,363
営業外収益合計	4,010	9,089
営業外費用		
支払利息	3,305	3,064
貸倒引当金繰入額	591	—
長期前払費用除却損	14,493	—
その他	858	776
営業外費用合計	19,249	3,840
経常利益	168,222	135,707
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	168,222	135,707
法人税、住民税及び事業税	41,438	25,441
法人税等調整額	26,776	36,957
法人税等合計	68,214	62,399
四半期純利益	100,008	73,308
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	△144
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,029	73,452

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	100,008	73,308
四半期包括利益	100,008	73,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,029	73,452
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	△144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	2,746,239	1,424,564	302,186	758,832	5,231,823
外部顧客への売上高	2,746,239	1,424,564	302,186	758,832	5,231,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,308	—	25,538	65	31,912
計	2,752,548	1,424,564	327,724	758,897	5,263,735
セグメント利益又は 損失(△)	318,391	91,240	△2,657	33,937	440,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	440,911
セグメント間取引消去	384
全社費用(注)	△257,834
四半期連結損益計算書の営業利益	183,461

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	2,611,132	1,915,843	295,313	777,449	5,599,738
外部顧客への売上高	2,611,132	1,915,843	295,313	777,449	5,599,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,952	—	27,628	66	33,647
計	2,617,085	1,915,843	322,941	777,515	5,633,386
セグメント利益又は 損失(△)	316,596	127,694	△16,594	7,383	435,080

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	435,080
セグメント間取引消去	508
全社費用(注)	△305,131
四半期連結損益計算書の営業利益	130,458

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後の配分方法に基づいて作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	66,892千円	82,373千円
のれんの償却額	14,946	14,812